



## 盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き世界につながるまち盛岡～

令和4年6月14日  
教育委員会事務局  
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

### 原敬記念館第63回企画展「原敬と大慈寺」を開催します

原敬の菩提寺として知られる福聚山大慈寺は、開創300年を有する盛岡の名刹です。

原と大慈寺との関わりは、原の祖先が大慈寺の檀家として受け入れられたことに始まります。祖先が大慈寺に世話になったことを知った原は、山門の再建や本堂・庫裡の新築費などを寄進しました。

原の没後、大慈寺は彼を慕う人々が訪れる聖地のような場所となり、毎年原敬忌追悼会を営むなど、原の遺徳を伝え続けています。大慈寺の歴史や原家との縁をひも解きながら、原敬と大慈寺の関わりについて紹介しますので、ぜひご来館ください。

#### 記

【日 時】 令和4年6月25日（土）～令和4年9月11日（日）  
9時～17時まで（最終入館16時30分）

【休 館 日】 毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）  
※8月1日（月）、8月15日（月）は臨時開館

【場 所】 原敬記念館小ホール

【入 館 料】 一般200円、小中学生50円、盛岡市内に住所を有する65歳以上の方は無料

【主 催】 原敬記念館（所管：盛岡市教育委員会）・（公財）盛岡市文化振興事業団

#### 【イベント】

##### ギャラリートーク

|      |     |               |                 |
|------|-----|---------------|-----------------|
| 【日時】 | 第1回 | 2022年7月17日（日） | 午後1時30分～午後2時15分 |
|      | 第2回 | 8月20日（土）      | 午後3時15分～午後4時00分 |
|      | 第3回 | 9月11日（日）      | 午後1時30分～午後2時15分 |

【場所】 原敬記念館小ホール

【講師】 中野 千恵子（原敬記念館主任学芸員）

【定員】 各回15人（先着順）

【お申し込み・受付方法】

第1回：7月3日（日）、第2回：8月6日（土）、第3回：8月28日（日）  
いずれも10：00から電話にて受付

#### 原敬記念館 学芸員講座「原敬と大慈寺」

【開催日】 2022年8月20日（土）

【時間】 午後1時30分～午後3時00分

【場所】 原敬記念館ロビー

【講師】 中野 千恵子（原敬記念館主任学芸員）

【料金】 無料

【定員】 15人（先着順）

【お申し込み・受付方法】

8月6日（土）10：00から電話にて受付

【主な展示資料】



「大慈寺棟札」(当館蔵)  
棟札には、明治17年(1884)の盛岡大火により類焼後、仮本堂を建てたが大破したため、原により大正7年(1918)に新築したことが記されている。



横川良助編「寺實矩格」  
(福聚山大慈寺蔵)

横川が、大慈寺の什物や歴史及び歴代和尚などについてまとめたもの。27巻現存している(「大慈寺之一」が欠)。盛岡市指定有形文化財。



上野廣一「原敬」・「原浅」(福聚山大慈寺蔵)

原の庇護により渡仏し、洋画を学んだ上野が描いた夫婦の肖像画。大慈寺の境内に移築された原の別荘・腰越荘に飾られている。

※注意

上記3点の画像は本展周知のみに使用してください。  
(鮮明な画像を御要望される場合は担当者へ御連絡ください)  
掲載にあたりクレジットとして収蔵場所を明記してください。  
掲載紙を一部、当館保存として寄贈してください。

【問い合わせ先】

原敬記念館 (担当：中野千恵子)  
指定管理者：(公財) 盛岡市文化振興事業団  
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25  
TEL (019)636-1192  
FAX (019)636-1185



原敬記念館第63回企画展

# 原敬と大慈寺



令和4年6月25日(土)～令和4年9月11日(日)

原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

●開館時間

9:00～17:00 (入館は16:30まで)

●休館日

毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日)

●入館料

一般 200円 (団体 120円)

小・中学生 50円 (団体 30円)

団体入館料は30人以上の団体に適用します

HP



Twitter



指定管理：公益財団法人盛岡市文化振興事業団

## 原敬記念館

HARA-KEI MEMORIAL MUSEUM

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25

TEL:019-636-1192 FAX:019-636-1185

主催／原敬記念館(所管：盛岡市教育委員会)、公益財団法人盛岡市文化振興事業団

共催／原敬を想う会

原敬の菩提寺として知られる福聚山大慈寺は、開創300年を有する盛岡の名刹です。

原と大慈寺の関わりは、原の祖先が大慈寺の檀家として受け入れられたことに始まります。祖先が大慈寺に世話になったことを知った原は、山門の再建や本堂・庫裡の新築費などを寄進しました。

原の没後、大慈寺は彼を慕う人々が訪れる聖地のような場所となり、毎年原敬忌追悼会を営むなど、原の遺徳を伝え続けています。

この展示では、大慈寺の歴史や原家との縁をひも解きながら、原敬と大慈寺の関わりについて紹介します。

はら たかし  
**原 敬**

[1856～1921]

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村に生まれる。盛岡藩士・原直治の二男。藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。

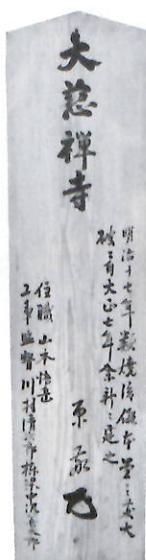


横川良助編「寺實矩格」  
(福聚山大慈寺蔵)

横川が、大慈寺の什物や歴史及び歴代和尚などについてまとめたもの。27巻現存している(「大慈寺之一」が欠)。盛岡市指定有形文化財。

「大慈寺棟札」  
(当館蔵)

棟札には、明治17年(1884)の盛岡大火により類焼後、仮本堂を建てたが大破したため、原により大正7年(1918)に新築したことが記されている。



上野廣一「原敬」・「原浅」(福聚山大慈寺蔵)

原の庇護により渡仏し、洋画を学んだ上野が描いた夫婦の肖像画。大慈寺の境内に移築された原の別荘・腰越荘に飾られている。

## 企画展関連講座

演題／原敬と大慈寺

講師／中野千恵子(原敬記念館主任学芸員)

日時／令和4年8月20日(土) 13:30～15:00

受付／令和4年8月6日(土)

10:00から電話にて受付(先着15人)

参加費／無料

## 担当学芸員による展示解説

日時／①令和4年7月17日(日) 13:30～14:15

② // 8月20日(土) 15:15～16:00

③ // 9月11日(日) 13:30～14:15

受付／①7月3日(日)、②8月6日(土)、③8月28日(日)～  
いずれも10:00から電話にて受付(各回先着15人)

参加費／入館料が必要(但し②のみ同日開催の講座参加者は無料)

## (公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ (他館のご案内)

### 盛岡市先人記念館

第65回企画展「高橋嘉太郎－盛岡の新聞人－」

令和4年7月2日(土)～9月4日(日)

### 石川啄木記念館

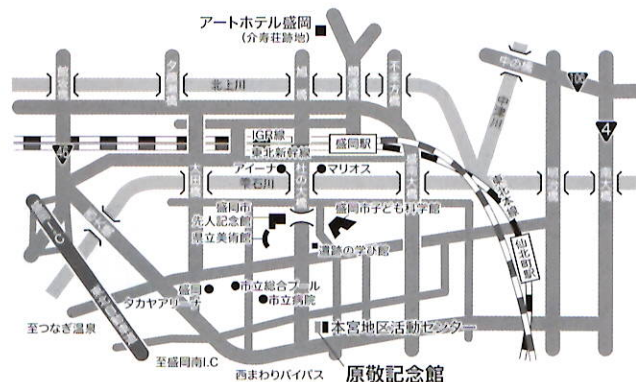
第16回企画展「啄木と修学旅行」

令和4年5月17日(火)～9月11日(日)

### 盛岡てがみ館

第65回企画展「切手から見る岩手」

令和4年6月28日(火)～10月10日(月・祝)



交通アクセス  
[バス] ①「原敬記念館前」下車 ・盛岡駅発着 盛岡ループ200 ・矢巾営業所行 本宮線・羽場線  
②「もといち泉公園前」下車徒歩5分 ・イオンモール盛岡南線  
[タクシー] 盛岡駅より約5分